

1 平成28年度の教育目標

(1) 本校の教育目標

弥富市の学校教育基本方針を受け、本校の教育目標を「児童のすぐれた個性を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた、心豊かでたくましい人間の形成」とする。

そのため、校訓を「正しく やさしく たくましく」とし、その具現化を目指す。

<校 訓>		<目指す児童像>	
正	し く	………	真理を求め よく考え実践する子
や	さ し く	………	礼儀正しく おもいやりのある子
た	く ま し く	………	心身ともにたくましく がんばる子

(2) 経営方針

「共に育ちましょう(共育)」の発想を全ての教育活動の基本姿勢とし、常に学び合い、高め合い、夢と情熱が語れる教師集団でありたい。

ア 一人一人のよさに目を向け、個性を伸ばす教育を推進する。

イ 確かな学力をはぐくむ学習指導に努める。

ウ 異学年との交流活動を通して、心の教育の充実に努める。

エ 健康の保持増進と体力の向上を図る。

オ 安全で居心地の良い環境の整備に努め、学校・地域を愛する心を育てる。

カ 外国語活動、国際理解教育の指導を通して、世界に目を向ける児童の育成に努める。

(3) 本年度の重点努力目標

児童の生きる力をはぐくむために、学習指導要領の趣旨を踏まえた学力の充実に努めるとともに、学校・家庭・地域社会が連携・協力して相互に補完しながら児童の豊かな人間性の育成を図る。

ア 校内現職教育の充実に努め、授業力・指導力の向上に努めるとともに、少人数指導、ぐんぐんタイム等を活用して、子どもたちの確かな学力の充実に努める。

イ 各教科や道徳において、実感や体験が伴った体験的・問題解決的な学習を行い、自ら学び、自ら考える力を育てる。

ウ 地域の方々との交流の場をできる限り多く設定し、思いやりの心や福祉の意識の高揚を図る。

エ 学校行事や異学年集団での活動を通して、互いの良さを認め合い、相手のことを理解しようとする気持ち(人権意識)を育てる。

オ 基礎的な体力を養う場をできるだけ多く設定するとともに、食に関する指導の充実に努め、運動に親しむ習慣や健康的な生活習慣を身に付けた児童の育成に努める。

カ 外国語活動は、あいさつや会話、ゲーム、歌などの体験的な活動を中心に行い、英語でのコミュニケーション能力の素地を養う。

キ コンピュータや情報通信ネットワークを含めた教育機器の活用を図り、情報活用の実践力や情報モラルを身に付けた児童の育成に努める。

ク 「あいさつをする」「はいと返事する」「はきものをそろえる」「人の話を目で聞く」をしつけの四大原則にとらえ、学ぶ姿勢・構え作りの基本とする。

ケ 安全を意識し、自己の判断で正しく行動することのできる児童の育成に努める。

コ 一人一人の子どもに寄り添う指導や支援を進めるとともに、相談活動の充実に努める。

サ 学校だよりや学校ホームページを充実させ、広く学校の情報を公開するとともに、家庭や地域社会の信頼と協調を得るように努める。